

RALLY GUIDE 1



この書類は案内書として作成されており、規則的な効力はありません。特別規則書、公式通知にて規定された場合はそちらに従ってください。規則については、FIA国際モータースポーツ競技規則(FIA International Sporting Code)とその付則、FIA地域ラリー選手権規則(FIA Regional Rally Sporting Regulations)、JAF国内競技規則(JAF National Sporting Regulations)とその付則、ラリー北海道の特別規則書および公式通知に従ってください。

ラリー北海道大会組織委員会

警告

選手、チーム、メディア、及び関係者全ては2018年FIA地域ラリー規定に従って日本の交通法規を遵守しなければなりません。法令遵守の原則に則り、大会主催者は以下について警告します。

- 「2018年FIA地域ラリー規定20条」及び「JAFスペシャルステージラリー開催規定第31条」に則り、交通違反者に対しては厳格に罰則を適用します。
- 違反者は来年以降のエントリーを受け付けない場合があります。
- 大会期間中、交通違反が発生した場合、大会の継続や今後の開催に重大な影響を与える可能性があります。

以上

海外からお越しになる方へ

日本には国際基準とは異なる交通規則が存在します。しかしそれらは厳密に遵守されなくてはなりません。特に下記には注意してください。

全体的に道路標識は国際基準と合致していますが、「止まれ」のサインだけは異なります。形状は逆三角形です（海外の「Give Way」標識に似ています）。

すべての車両は踏み切りで必ず停止しなくてはならず、通過する前に電車が来ていないことを確認しなければなりません。

特に標識で規制されていない場合は、町の中心部は時速40km以内で、その他の地域は時速60km以内で走行しなくてはなりません。高速道路の最高速度は、状況にもよりますが、時速70kmです。

また、海外からお越しになる方は、一般道を運転するのに日本で有効な免許証、および国際免許証について理解してなくてはなりません。国際免許証は「1949年ジュネーブ交通条約」下で発行されたものでなければならず、国際免許証の表紙に「1949年ジュネーブ交通条約」と明記されています。ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー、台湾の免許証所持者はJAFで免許証の翻訳が必要になります。その翻訳したものと免許証を同時に所持することでジュネーブ条約下で発行された国際免許証と同じ効力を持ちます。以上の免許証以外を所持している方は「外免切替」が必要になります。

外免切替の詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください：

<http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

詳細については第8章をご覧ください。

目次

1 はじめに～歓迎の挨拶／大会概要	4	12.1 レッキ	18
1.1 大会組織委員長より挨拶	4	12.2 GPSTラッキング	18
1.2 大会概要	5	12.3 ETC	20
1.3 十勝地方について	6		
2 オーガナイザーの連絡先	7	13 車検、封印とマーキング	21
2.1 大会事務局	7	13.1 公式車両検査の場所と日程	21
2.2 ラリーHQ	7	13.2 再車検	21
2.3 メディア事務局	7	14 シェイクダウン	21
2.4 主要競技役員	8	15 スタート	21
3 プログラムと期日	9	16 フィニッシュ	21
3.1 大会開始前のスケジュール	9	17 PRイベント	22
3.2 大会期間中のスケジュール	9	18 メディア	23
4 エントリー	11	18.1 メディアの連絡先と担当者	23
4.1 タイトル	11	18.2 メディア申請の手順と締切り	23
4.2 エントリー受理基準	11	18.3 メディアブリーフィング	23
4.3 エントリーフィー	11	19 クレデンシャルと車両通行証	23
4.4 エントリーパッケージ	12	20 医療とセーフティサービス	24
4.5 パスおよび書類の追加注文	12	20.1 緊急時のサービス	24
4.6 JSRへの登録	12	20.2 レッカーサービス	24
5 サービスパーク	13	20.3 薬局	24
5.1 サービスパークについて	13	20.4 歯科医院	24
5.2 サービスパークのゴミについて	13	21 総合案内	25
6 無線	13	21.1 概要	25
6.1 申請の手順	13	21.2 電話	26
7 燃料／タイヤ	14	21.3 運転及び運転免許証	26
7.1 燃料	14	21.4 銀行/クレジットカード/現金	26
7.2 タイヤ	14	21.5 帯広へのアクセス	27
8 車両と部品の日本への持ち込みと運転免許	14	21.6 ビジネスディレクトリー	28
8.1 日本の法律／通関手続き	14	付則	35
8.2 車両に関わる規制	14	付則 A：アイテナリー	36
8.3 日本国内を運転する際の条件	15	A.1 アイテナリー	36
8.4 交通法規の違い	15	A.2 過去のアイテナリーとの比較	39
9 ヘリコプター	16	A.3 レッキスケジュール	40
9.1 登録申請手続き	16	付則 B：マップ	41
10 ホスピタリティー	16	B.1 ルートマップ	41
10.1 ホスピタリティー担当者	16	B.2 帯広市地図	42
11 ホテル／宿泊施設	17	付則 C：図面とレイアウト	44
11.1 予約に関するお問合せ	17	C.1 北愛国サービスパークレイアウト	44
12 レッキ／GPSTラッキング／ETC	18	C.2 陸別リモートサービスレイアウト	45

付則 D : 各種フォーム	46
D.1 宿泊予約申込書	46
D.2 エントリーブックレット	47
D.3 無線局緒元調書	51

1 はじめに～歓迎の挨拶／大会概要

1.1 大会組織委員長より挨拶

ラリーファンの皆様、参加者の皆様、関係者の皆様、ラリー北海道へようこそ。
2018年FIAアジア・パシフィックラリー選手権第4戦およびJAF全日本ラリー選手権第8戦として「ラリー北海道」を今年もここ北海道・十勝で開催いたします。今年はアジア・パシフィックラリー選手権は30周年の記念年となり、今後も今以上に盛り上げられるよう努力してまいります。また、今年も国際イベントへの参加車両の拡大と世界基準のラリーの更なる普及の為、「日本スーパーラリーシリーズ」の一戦としても開催いたします。本大会も2002年の初開催から今年で17回目、一貫して十勝地域を拠点とし開催してまいりました。これも地域の皆様のご協力のおかげと感謝しております。今大会も地域の方々のご支援をいただきながら、万全の体制を整えまして、9月に皆様をお迎えいたします。

本年もサービスパークは、例年と同じく帯広市の「北愛国交流広場」と陸別町の「陸別オフロードサーキット」を予定しています。HQも昨年同様、国内最大級の室内アイススケート場「明治北海道十勝オーバル」に隣接する管理棟に、また足寄町と本別町の道の駅では今年もラリーパークを開催予定であります。

また、昨年好評だったフォトコンテストやオートテストなど、観客の皆様も参加し、楽しめるコンテンツも充実させたいと思っております。

参加者やラリーファンのみならず全ての皆様が楽しめる「ラリー北海道」を作っていきます。どうぞご期待下さい。

最後になりましたが、これまで私達は「モータースポーツの楽しさ・走ることの楽しさ」をコンセプトとしたイベントづくりを追求してまいりました。今般は、日本国内にもあらゆる面で明るい兆しが見えて来ております。自動車業界もまたスポーツカーへのアピールをはじめており、モータースポーツを取り囲む環境にも光が見えてきました。この機を逃さず、今後におきましても一層の努力をもってモータースポーツの発展に寄与してまいります。何卒今後とも「ラリー北海道」をよろしくお願い申し上げます。



ラリー北海道大会組織委員長

田畑邦博

1.2 大会概要（ラリー北海道概史）

日本でFIAアジア・パシフィックラリー選手権が開催されるのは、初開催の2002年から今年で17回目になります。2003年には世界ラリー選手権（WRC）候補イベントとして、また2004年にはラリー・ジャパンと併催して開催されました。2005年よりラリー・ジャパンから再び独立してラリー北海道の名称となり、JAF全日本ラリー選手権を併催する国内唯一のFIA選手権ラリーとして開催を続けています。

このラリーは2018年9月14日から16日に開催されます。9月中旬の天候は初秋の気候で平均降水量は若干多くなります。9月の平均気温は約16℃です。また、この季節の日の出時刻は午前5時05分頃、日照時間は日の出からおよそ12時間あります。

アイテナリーは、十勝地方のおなじみの大地を網羅しています。今年のギャラリーステージは、金曜日にスタート直後の“SSS Sammy SATSUNAI”、土曜日は“RIKUBETSU LONG”と“SSS Sammy SATSUNAI”、日曜日は“OTOFUKE REVERSE” “NEW HONBETSU” “PAWSE KAMUY”と“SSS Sammy SATSUNAI”が盛り込まれています。なお、日曜日の“OTOFUKE REVERSE” “NEW HONBETSU” “PAWSE KAMUY”は全日本は1回のみの走行、逆に“SSS Sammy SATSUNAI”は全日本のみが走行する予定です。

ラリーHQ及びメディアセンターは昨年同様に、帯広市の明治北海道十勝オーバルに隣接した管理棟に設置します。サービスパークは今年も世界ラリー選手権（WRC）ラリー・ジャパンで使用されていた北愛国交流広場に設定します。また、昨年同様、Leg1で使用するRIKUBETSUでもサービスを行います。

この大会歴代勝者は以下の通りです。

PAST WINNERS



Year	Entrant	Driver	Co-driver	Vehicle	Gp/Cl
2017	Team MRF (Australia)	Gaurav GILL (India)	Stephane PREVOT (Belgium)	Skoda Fabia R5	RC2/ R5
2016	Team MRF (Australia)	Gaurav GILL (India)	Stephane PREVOT (Belgium)	Skoda Fabia R5	RC2/ R5
2015	Team MRF (Australia)	Pontus TUDEMAND (Sweden)	Emil AXELSSON (Sweden)	Skoda Fabia S2000	RC2/ S2000
2014	Team MRF (Australia)	Jan KOPECKY (Czech Republic)	Pavel DRESLER (Czech Republic)	Skoda Fabia S2000	RC2/ S2000
2013	Team MRF (Australia)	Gaurav GILL (India)	Glenn MACNEALL (New Zealand)	Skoda Fabia S2000	S2000
2012	Team Arai (Japan)	Toshihiro ARAI (Japan)	Dale Jay MOSCATT (Australia)	Subaru Impreza WRX STi 4Door	R4
2011	Subaru Team Arai (Japan)	Toshihiro ARAI (Japan)	Mcloughlin ANTHONY (Australia)	Subaru Impreza WRX STi	R4
2010	Subaru Team Arai (Japan)	Toshihiro ARAI (Japan)	Daniel BARRITT (Great Britain)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2009	Motor Image Rally Team (Singapore)	Cody CROCKER (Australia)	Ben ATKINSON (Australia)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2008	Subaru Team Arai (Japan)	Toshihiro ARAI (Japan)	Glenn MACNEALL (New Zealand)	Subaru Impreza WRX STi	N4

1.3 十勝地方について

北海道は日本列島の最北に位置し、人口は約560万人です。人口密度は67人/km²であり、全国平均の342人/km²や東京都の5629人/km²と比べて、あまり人口が密な地域ではありません。また、多くの森林、山々、農業地帯が広がる豊かな地域です。

北海道は、イタリアの北方やフランスとほぼ同緯度に位置しています。しかし、南太平洋海流の影響を受けるため、冬には長期にわたり寒さが厳しくなります。日本は夏に台風の影響を多く受けますが、北海道はもっともその影響を受けることが少ない地域です。ただ、最近は温暖化の影響か、北海道にも台風が上陸する事が増え、2016年には大きな被害が出ました。

十勝の田園風景は、アメリカ合衆国北部の州に似通ったところがあり、また、ラリー北海道のスペシャルステージをウェールズのステージに例える人々もいます。土地は比較的起伏が少なく、多くは農業に使用されています。山脈が南北に走り、北海道を東と西に分けています。北海道の中央部から西にも山脈があり、これら二つの山脈により、十勝地方の天候は比較的安定しています。ラリーで使用するコースの多くは十勝平野にあり、そのうちの何本かは山脈の麓にあります。山地ではありません。

北海道は、比較的新しい地域で、約200年前に本州から渡ってきた人により開拓されました。開拓以前は、この地区にはシベリアからカムチャッカ半島を下って来たアイヌと呼ばれる先住民のみが居住していました。その影響で北海道の多くの地名の語源はアイヌ語であり、ラリー北海道のステージ名の一部はアイヌ語を基に決定されました。

サービスパークが設置される帯広市は人口約17万人の都市です。帯広市は十勝地方の商業中心都市であり、町並みは近代的で、ホテルやレストランも数多くあります。道路は整備され、日本語・英語で書かれた標識がついています。中心地点からの方角と距離によって道路に名称がつけられており、例えば人気のあるレストラン「十勝農園」の住所は、西1条南9丁目6となっています。

十勝の人々はモータースポーツが大好きです。この地域では2001年から国際ラリーが開催され、2004年から2007年まで4年間、WRCが開催されました。また開催地を変更せず、毎年この地で「ラリー北海道」を開催してきた事もあり、地元の人々は日本で最もラリーを理解し、支援、協力する人々でもあります。

帯広市の地図は付則Bでご覧ください。



2 オーガナイザーの連絡先

2.1 大会事務局

ラリー北海道大会事務局 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 邦明商事内	Tel: 011-864-2003 Fax: 011-864-1182 Eメール: info@rally-hokkaido.com ウェブサイト: www.rally-hokkaido.com
---	---

2.2 ラリーHQ

ラリーHQとメディアセンターは2009年に完成した十勝オーバルスケートリンクに隣接しており、様々な目的に使用され、2010年に開催された「世界スプリントスピードスケート選手権大会」では、メディアセンターとして使用されました。

メインサービスパークは愛国町の北愛国交流広場に、もう1つのサービスエリアは陸別町の陸別サーキットに隣接されます。北愛国サービスパーク、陸別サービス及びHQの位置については付則Bの地図をご参照ください。



Rally HQ

2.3 メディア事務局

メディアオフィサー:	河野 功
住所:	ラリー北海道大会事務局 メディア 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 邦明ビル
Tel:	011-864-2003
Fax:	011-864-1182
Eメール:	media@rally-hokkaido.com
Web:	www.rally-hokkaido.com

メディアに関する詳細につきましては、セクション18をご参照ください。

2.4 主要競技役員

	田畑 邦博 大会組織委員会委員長 tabata-p@rally-hokkaido.com 011-864-2003 言語: 日本語		槇田 龍史 競技長 makita@rally-hokkaido.com 090-3117-4789 言語: 日本語
	Dmitry (Dima) KRIVTSOV 副競技長 dima@rally-hokkaido.com 090-2077-6302 言語: ロシア語、英語、日本語		米澤 章 救急委員長 yonezawa@rally-hokkaido.com 090-3110-0896 言語: 日本語
	石川 和男 技術委員長 scrutineer@rally-hokkaido.com 090-3111-9306 言語: 日本語		河野 功 メディアオフィサー media@rally-hokkaido.com 011-864-2003 言語: 日本語、英語
	Peter MACNEALL コンペティターリレーションオフィサー info@rally-hokkaido.com(Attn: Peter Mac) 011-864-2003 言語: 英語		小寺 俊策 コンペティターリレーションオフィサー cro@rally-hokkaido.com 090-6921-9881 言語: 日本語、英語
	野田 健 医師団長 info@rally-hokkaido.com 011-864-2003 言語: 日本語		中田 省吾 競技長補佐 nakata@j-is.jp 090-1527-6926 言語: 日本語
	永井 真 競技長補佐(リザルト) nagai@rally-hokkaido.com 090-3119-8487 言語: 日本語、英語		若松 勝仁 競技長補佐(コース) info@rally-hokkaido.com 011-864-2003 言語: 日本語
	山田 堅一 リグループコーディネーター info@rally-hokkaido.com 011-864-2003 言語: 日本語		酒井 紀之 サービスパークコーディネーター info@rally-hokkaido.com 011-864-2003 言語: 日本語
	大橋 登美雄 事務局長 info@rally-hokkaido.com 090-3117-3671 言語: 日本語		三上 清春 イベントセクレタリー mikami@homei-gr.com 090-3112-2095 言語: 日本語
	小池 治郎 イベントセクレタリー koike@homei-gr.com 090-7510-5117 言語: 日本語		新井野 美恵子 イベントセクレタリー niino@rally-hokkaido.com 011-864-2003 言語: 日本語、英語
	田畑 弘美 イベントセクレタリー hiromi@homei-gr.com 011-864-2003 言語: 日本語		

3 プログラムと期日

3.1 大会開始前のスケジュール

6月14日 木曜日

18時00分 双方向無線使用申請締切 大会事務局

6月23日 土曜日

10時00分 特別規則書の発行 www.rally-hokkaido.com

7月24日 火曜日

10時00分 エントリー受付開始 大会事務局

10時00分 メディア登録申請開始 大会事務局

18時00分 ヘリコプター登録締切 大会事務局

8月24日 金曜日

10時00分 ラリーガイド2の発行 www.rally-hokkaido.com

18時00分 エントリー締切 大会事務局

18時00分 備品およびバスの追加注文締切 大会事務局

18時00分 コ・ドライバーの詳細の登録締切 大会事務局

18時00分 フレキシサービス登録締切 大会事務局

18時00分 ポンプ燃料発注締切日 大会事務局

18時00分 メディア登録申請締切 大会事務局

9月6日 木曜日

10時00分 シードエントリーリストの発行 www.rally-hokkaido.com

18時00分 サービスパークレイアウトおよびサービススペースの公示 大会事務局

9月9日 日曜日

10時00分 ロードブックおよびルートマップの発行 大会事務局

3.2 大会期間中のスケジュール

9月10日 月曜日

09時00分 各チームへのサービスパークオープンおよびコンテナ搬入 北愛国サービスパーク

9月12日 水曜日

09時00分 ラリーHQ開設 十勝オーバル管理棟

09時00分-19時00分 ラリーHQ開設時間 ラリーHQ

09時00分 公式掲示板 ラリーHQ

09時00分 車検スケジュールの公示 公式掲示板

13時00分-19時00分 (APRC)参加確認及び書類検査、サービス受付、レッキ受付 ラリーHQ

13時00分-19時00分 (全日本)参加確認及び書類検査、サービス受付、レッキ受付 ラリーHQ

13時00分-19時00分 メディアセンター開設時間 メディアセンター

13時00分 メディア受付開始 メディアセンター

9月13日 木曜日

08時00分-19時00分	ラリーHQ開設時間	ラリーHQ
08時00分-19時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
08時00分-19時00分	(全日本)参加確認及び書類検査、サービス受付	ラリーHQ
08時00分-18時00分	レッキ	レッキスケジュール参照
13時00分-19時00分	車検・マーキングおよびシーリング	スーパーピット中央店
19時30分-	ウェルカムパーティー	北愛国サービスパーク

9月14日 金曜日

06時30分-22時00分	ラリーHQ開設時間	ラリーHQ
06時30分-22時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
07時00分-12時00分	レッキ	レッキスケジュール参照
08時30分-12時30分	車検・マーキングおよびシーリング	スーパーピット中央店
12時00分-13時00分	シェイクダウン	SSS Sammy SATSUNAI
13時30分-	第1回大会審査委員会	審査委員会室
14時30分-	プレメディアコンファレンス	メディアセンター
15時00分-	メディアブリーフィング	メディアセンター
15時00分	Leg 1スタートリストの公示	公式掲示板
15時45分-	ラリーショー	北愛国サービスパーク
16時45分-	セレモニアルスタート	北愛国サービスパーク
17時37分-	Leg 1Aスタート	北愛国サービスパーク

9月15日 土曜日

05時30分-22時00分	ラリーHQ開設時間	ラリーHQ
05時30分-22時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
06時00分	Leg 1Bスタート	北愛国サービスパーク
21時00分	Leg 2スタートリストの公示	公式掲示板

9月16日 日曜日

04時30分-21時00分	ラリーHQ開設時間	ラリーHQ
04時30分-21時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
05時00分-	Leg 2スタート	北愛国サービスパーク
18時15分-	暫定表彰式、ファイナルメディアコンファレンス (全日本は15時09分-)	北愛国サービスパーク
18時50分-	再車検 (全日本は15時40分-)	スーパーピット中央店 (北愛国サービスパーク)
19時50分(予定)	暫定結果公示 (全日本は16時40分-(予定))	公式掲示板
21時00分	メディアセンター閉設	メディアセンター

9月17日 月曜日

09時00分-12時00分	ラリーHQ開設時間	ラリーHQ
10時00分	リザルトCD発行	ラリーHQ
12時00分	ラリーHQ閉設	ラリーHQ

4 エントリー

4.1 タイトル

4.1.1 FIAタイトル

FIA Asia-Pacific Rally Championship for Drivers and Co-Drivers
FIA Asia-Pacific Rally Cup for Manufacturers
FIA APRC 2 Championship for Drivers and Co-Drivers
FIA APRC 3 Championship for Drivers and Co-Drivers
FIA APRC Junior Championship for Drivers
FIA Asia Rally Cup for Drivers and Co-Drivers
FIA Asia-Pacific Rally Cup power by WÜRTH

4.1.2 APRCタイトル

APRC Team Award
APRC 2 Asia Cup
APRC 3 Asia Cup
APRC Alternative Energy Vehicle (AEV) Cup
APRC Sports Utility Vehicle (SUV) Cup

4.1.3 JAFタイトル

2018 全日本ラリー選手権

4.1.4 JMAタイトル

2018 スーパーラリーシリーズ

4.2 エントリー受理基準

APRCクラス参加選手としてラリー北海道にエントリーするためには、エントラント、ドライバーおよびコ・ドライバーは、それぞれ必要な国際競技ライセンスを所持していなければなりません。海外で発給されたライセンスの保持者は、その国のASNからの許可証を受け取るか、エントリーフォームに確認印を得なければなりません。APRCと全日本ラリー選手権のエントリーの上限は、合計で90台です。それ以上のエントリーがあった場合、オーガナイザーが選考の権利を有します。APRC及びアジアカップ登録選手はエントリーが保証されます。APRCクラスにエントリーする場合、ドライバーと参加者が同一であっても、「競技運転者ライセンス」の他に、「参加者ライセンス」が必要になります。

4.3 エントリーフィー (エントリーフィーの支払方法)

アジア・パシフィックラリー選手権及びアジアカップ(ジュニア選手権を除く)	
オーガナイザーによって提示された任意の広告をつけた場合	280,000円
オーガナイザーによって提示された任意の広告無しの場合	380,000円
アジア・パシフィックラリー ジュニア選手権	
オーガナイザーによって提示された任意の広告をつけた場合	260,000円
オーガナイザーによって提示された任意の広告無しの場合	360,000円
JSR登録費用	
JSRへの登録希望チームのみ	+20,000円
全日本ラリー選手権	
全日本ラリー選手権	250,000円
全日本ラリー選手権外オープンクラス	210,000円

エントリーフィーにはトラッキングシステムのアンテナキットは料金に含まれておりません。アンテナキットをお持ちでない方は、別途エントリーブックレット(付則:D2)よりレンタルをお申し込み下さい。
エントリーフィーに含まれる内容はエントリーパッケージ(次ページ)をご覧ください。

燃料代金に関して:主催者燃料を使用するチーム(FIA燃料を使用しない全てのチーム)の燃料代金の支払方法は銀行振込のみとさせていただきます。燃料単価はエントリー開始時に燃料注文書にて発表致します。エントリーフィーおよびその他の登録料は、以下の銀行口座にお振込みください。

銀行名:	北海道銀行	口座名義:	ラリー北海道大会組織委員会
支店名:	流通センター前	口座番号:	1064661
Swift Code:	HKDBJPJT		

4.4 エントリーパッケージ

エントリーフィーには下表の内容が含まれます。

Item	APRC and/or Asia Cup registered competitors	Other APRC or Asia Cup competitors	JRC competitors
Rally Guide 1 / ラリーガイド1	Available at event website	Available at event website	Available at event website
Supplementary Regulations / 特別規則書	Available at event website	Available at event website	Available at event website
Rally Guide 2 / ラリーガイド2	Available at event website	Available at event website	Available at event website
Road Books / ロードブック	2	1	1
Route Map / ルートマップ	2	1	1
Official Programme / 公式プログラム	4	1	1
Results CD / リザルトCD	1	1	1
Competitor credential passes / 競技者パス	2	2	2
Service credential passes / サービスクルーパス	8	4	4
Guest credential passes / ゲストパス	4	—	—
Service vehicle passes / サービス車両通行証	2	2	2
Auxiliary vehicle passes / 補助車両通行証	1	—	—
Service space (Kita Aikoku Service Park) / サービスパークスペース (北愛国サービスパーク)	15x10m	7.5x5m	7.5x5m
WÜRTH Drivers Kit / ウルト ドライバースキット	1	1	—
WÜRTH Mini Drivers Kit / ウルト ミニドライバースキット	—	—	1

エントリーパッケージに宿泊は含まれておりません。宿泊は各自手配願います。
なお、宿泊場所の検索に関しては「11 ホテル/宿泊施設」に記載しています。

4.5 パスおよび書類の追加注文

追加のパスおよび書類は、エントリーブックレット(付則:D2)を使用してご注文ください。

4.6 JSRへの登録

APRCクラスエントリー者で、日本国内4戦で争われるJSR(Japan Super Rally series)に参加登録希望者は、参加申込書のJSR参加登録欄に記載し、登録費用20,000円をエントリー費と一緒に支払ってください。
(JSRへの参加登録はAPRCクラスからのみです。)

5 サービスパーク

5.1 サービスパークについて

サービスパークは2箇所、帯広市愛国町10-1の北愛国交流広場及び陸別町ウエンベツの陸別サーキット隣接エリアに設置されます。

北愛国サービスパークの路面はグラベル及びターマック、陸別サービスはグラベルです。

北愛国サービスパークの開設は9月10日(月)9時00分です。管理は9月13日(木)から行います。

参加者は、サービス車両またはAuxiliary Vehicles(補助車両)に限り、北愛国サービスパークの指定エリア内に駐車することができます。それ以外の車両は、サービスパークに隣接している駐車場に駐車しなければなりません。1参加者につき2枚のサービス車両パスが支給されます。追加の補助車両用パスは10,000円で注文することができます。

APRC、アジアカップおよび全日本ラリー選手権に参加するクルー全員がフレキシサービスを受けることができます。フレキシサービスを希望する場合は、エントリーブックレット(付則D)のセクションB.3にご記入の上8月24日(金)までに競技会事務局までお申込みください。

5.2 サービスパークのゴミについて

北愛国サービスパークにはゴミ箱は設置していませんので基本的にゴミは全てお持ち帰り下さい。

ただし、エントリーフォームに記載されている特大ゴミ箱を注文された場合は除きます。この特大ゴミ箱は産業廃棄物用です。燃やすゴミや燃やさないゴミなどは下記のごみ袋に分別して下さい。

また、どうしても持ち帰れないゴミに関しては専用ごみ袋を購入していただき、これに入れた”分別された”ゴミに関しては月曜日の午後に各チームのサービススペース位置にて回収致します。このゴミ袋はエントリーフォームより購入出来ます。これ以外のゴミはいっさい回収致しませんので必ずお持ち帰りください。また、専用ごみ袋を使用しても、分別がなされていないと分別料を別途頂きます。分別の種類に関しては専用ごみ袋購入時に分別リストと一緒にお渡しします。

廃油に関して: 競技車両から出たエンジンオイルおよびギアオイルに関しては、リサイクル用の廃油タンクを北愛国サービスパーク内に用意いたします。環境負荷の低減の為にぜひこちらをご利用ください。ただし、このタンクで回収するのはエンジンオイルおよびギアオイルのみです。クーラントなどは絶対に入れないで下さい。

陸別サービスにもゴミ箱はありません。ここで出たゴミは例外無く全てお持ち帰り下さい。

6 無線

6.1 申請の手順

日本での無線の使用は、厳しく規制されています。無線装置の使用を希望する方は、遅くとも大会3ヶ月前(6/14)までに、当該装置の使用周波数、型番およびトランスミッション出力等の必要事項を詳細に付則Dのエントリーブックレットにある該当セクションに記入し、大会事務局までお知らせください。また、無線装置の周波数、トランスミッション出力によっては日本では使用できないものがあります。

担当者: 米澤 章
Tel: 011-864-2003
Fax: 011-864-1182
Email: yonezawa@rally-hokkaido.com

7 燃料／タイヤ

7.1 燃料

日本国内での販売しているガソリンの鉛の量は1リッター中0g(検査方法JIS K2255)です。

7.1.1 燃料のオーダー

FIA国際モータースポーツ競技規則の付則J項252.9条に適合したFIA燃料の使用が認められる。その場合参加者は各自で手配し、オーガナイザーが指定した場所まで燃料を持参するか直送しなければならない。注文及び輸送についての詳細はAPRCコーディネーターに確認する事。

APRCコーディネーター
Mr. Murray Brown
murray.brown@fiaaprc.com

市販のガソリン(一般燃料)を使用する参加者に於いては、燃料の統一化を図る為オーガナイザーに2018年8月24日(金)迄にオーダーすること。
オーダーフォームはエントリーフォームと共に公開される。

7.1.2 一般燃料注文の締切

2018年8月24日(金)まで

7.2 タイヤ

スパイクタイヤを使用した場合は失格とする。

8 車両と部品の日本への持ち込みと運転に必要な手続き

8.1 日本の法律／通関手続き

日本国内での輸送にはかなりの費用がかかりますので、開催場所から最も近い苫小牧港まで海上輸送を利用することをおすすめします。海外からの持ち込み品については税関手続きが必要になります。この地の税関担当者はラリー北海道に参戦するチームのための通関手続きについて慣れています。苫小牧港からサービスパークまでのコンテナ輸送には、約3時間かかります。

通関手続きに必要な書類と注意点などは下記の通り；

(1) FIAカルネ

FIAカルネはラリーカー、レッキ車両、サービス車両などの海外で登録された車両が日本国内を走行する時に必ず必要になります。このカルネは当該車両登録国のASNから発行されます。なお、FIAカルネで通関をする際には、JAFが発行するカルネの証明書が必要になります。この証明書の取得については、オーガナイザーにお問合せ下さい。なお、カルネとこの証明書は、当該車両を使用中に警察などから提示を求められる場合があります。いつでも提示できるよう用意しておいて下さい。また、当該車両の登録国を問わず、公道を走る全ての車両は自賠責保険に加入してはなりません。

注意：ジュネーブ条約(ジュネーブで1949年に締結された「道路交通に関する条約」)国以外の国から車両を輸入する場合は、例えばFIAカルネを取得していても、日本に到着した時点で車検、及び日本国内での登録が必要になります。この車検と登録には時間と費用がかかります。

* カルネ名義人以外の方が当該車両を使用する場合は、前もって日本での通関時に所定の申請書による届出が必要です。

(2) ATAカルネ

ATAカルネは機材、部品、タイヤ、及び販促アイテムを持ち込む時、必要になります。ATAカルネで輸入された全ての品目はラリー後再輸出される必要があります。禁制品は例え一時的であっても輸入することは出来ません。

(3) PRO FORMA INVOICE

PRO FORMA INVOICEの使用に関しては、オーガナイザーもしくは個々の輸送会社にお尋ね下さい。

高圧ガスシリンダーなどの危険物や医療品の輸入に必要な特別認可を受ける際に、上記の書類提出が求められます。これらの輸入に関しては、各自で手続きをする必要があります。

車両及びその他の機材を輸入する方は、下記にありますラリー北海道オフィシャルフォワードャーにお尋ね下さい。

株式会社栗林商会 苫小牧支社

053-0005 苫小牧市元中野町2丁目13-16

Tel: 0144-32-5161

担当者/メールアドレス

Fax: 0144-36-6839

河野 純吾: kouno@kurinet.co.jp

小林 克之: kat-kobayashi@kurinet.co.jp

8.2 車両に係る規制

ラリー北海道に参加する車両は、道路運送車両法・道路交通法など日本の国内法規を遵守しなければならず、国際モータースポーツ競技規則付則J項あるいはJAF国内競技車両規則(ライトポット、排気音量、etc)に合致していなければなりません。

日本で登録されていない車両は、以下の (a) (b) の書類が必要であり、車両に搭載しておかなければなりません。(c) は競技車両用にお勧めします。

(a) JAFから発行され、オーガナイザーから配布されたカルネの証明書類(翻訳されたもの)。この書類は車両の一時輸入を許可する効力があります。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれていますが、ラリーカー以外の車両に関しては、手数料がかかります。

(b) 自賠責保険の加入。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれています。ラリーカー以外の日本で登録されていない車両に関しては、約6,500円で加入することができます。

(c) ラリー保険。ラリーカーやレッキカーに対しこの保険をかけることをお勧めします。この保険には第三者賠償責任保険も含まれ、保険料は気筒容積によりますが、20,000円～です。

当ガイド付則Dのエントリーブックレットに、車両の輸入に関するセクションがあります。上記の(b)と(c)の加入に関しては、車両について詳細をご記入ください。

8.3 日本国内を運転する際の条件

海外から入国する者が日本国内で運転する為には日本の運転免許証、もしくは公道を運転するのに有効な国際免許証を所持しなくてはなりません。国際運転免許証は1949年に締結されたジュネーブ条約下で発行されたもののみが有効で、免許証の表紙にその事が明記されていなくてはなりません。詳細に関してはオーガナイザーにお問合せ下さい。

ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー及び台湾で発行された免許証を所持している者はJAFによる翻訳が必要になります。この翻訳と免許証を同時に携帯することで、ジュネーブ条約下で発行された国際運転免許証と同じ効力を持ちます。上記以外の免許証を所持している者は、外免切替が必要です。

外免切替の詳細についてはこちらのウェブサイトをご覧ください。

英語: <http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

日本語: <http://www.jaf.or.jp/inter/translation/index.htm>

8.4 交通法規の違い

<日本語版では省略します>

9 ヘリコプター

9.1 登録申請手続き／インフォメーション

ラリーのサポートを目的としたヘリコプターを使用する場合は、オーガナイザーに登録しなければなりません。ラリーコースの領空は航空法により管理され、許可された航空機のみがこの領空内を飛行することができます。ヘリコプターの登録申請には登録料がかかります。スペシャルステージやサービスパークを含め、着陸地点およびGPSポイントの一覧表は後日お知らせします。パイロットは全員、パイロットブリーフィングに出席しなければなりません。

ヘリコプターの使用申請期限は7月24日18:00です。

ヘリコプターの使用をお考えの方は下記の担当者にお問合せください。

担当: 米澤 章
Tel: 011-864-2003
Fax: 011-864-1182
Eメール: yonezawa@rally-hokkaido.com

10 ホスピタリティーの手配

10.1 ホスピタリティー担当者／会社

コーポレートホスピタリティーについては、下記の担当者にお問合せください。

担当: 新井野 美恵子
Tel: 011-864-2003
Fax: 011-864-1182
Eメール: niino@rally-hokkaido.com

11 ホテル／宿泊施設

11.1 予約に関するお問合せ

エントリーフィーに宿泊は含まれておりません。宿泊は各自でご予約下さい。
ただし、海外からエントリーのチームの皆様にはオーガナイザーの方でご予約のお手伝いを致します。
ホテルをご希望のチームは8月24日までに付則DのAccommodation Booking Formに記載し、オーガナイザーまでご連絡下さい。

担当： 新井野 美恵子
Eメール： niino@rally-hokkaido.com

<国内チームの皆様へ>

帯広市街および付近には多くのホテルがあります。インターネットで検索する場合には、「帯広」、「十勝川」と入力してみてください。また、帯広市内のホテルは、下記のウェブサイトもご参照ください。
ホテルとの連絡が困難な場合は、大会事務局にお問合せください。

帯広ホテル旅館組合

<http://www.obihiro-yado.com/>

<JR帯広駅周辺ホテルの一例>

・ルートイン帯広駅前

帯広市西3条南11丁目8 TEL : 0155-28-7200

Web : http://www.route-inn.co.jp/search/hotel/index_hotel_id_68

・十勝ガーデンズホテル

帯広市西2条南11丁目16 TEL : 0155-26-5555

Web : <http://www.gardenshotel.jp>

・ホテル十勝イン

帯広市西3条南10丁目 TEL : 0155-22-5151

Web : <http://tokachiinn.jp/>

・アパホテル帯広駅前 (旧 帯広ワシントンホテル)

帯広市西1条南12丁目8 TEL : 0155-23-5111

Web : http://www.apahotel.com/hotel/hokkaido/08_obihiro-ekimae/

・ホテル日航ノースランド帯広

帯広市西2条南13丁目1 TEL : 0155-24-1234

Web : <http://www.jrhotels.co.jp/obihiro/>

・プレミアムホテル-CABIN-帯広 (旧 ホテルパコ帯広)

帯広市西1条南11丁目 TEL : 0120-079-660

Web : <http://cabin.premierhotel-group.com/obihiro/>

・ホテルグランテラス帯広 (旧 帯広東急イン)

帯広市西1条南11丁目 TEL : 0155-27-0109

Web : <http://breezbay-group.com/hgt-obihiro/>

12 レッキ／GPSTラッキング／ETC

12.1 レッキスケジュール

レッキスケジュールの詳細は特別規則書にて発表致します。

12.2 GPSTラッキング

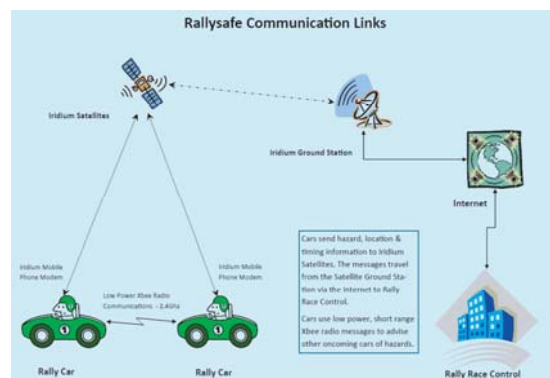
セーフティトラッキングシステム

FIA地域選手権規定65.2項により全車セーフティトラッキングシステムの搭載が義務付けとなっています。「ラリー北海道」ではRallySafeのトラッキングシステムを安全上および競技進行等の理由により(全日本・オープン参加も含み)全ての参加者は取り付けなければなりません。

● トラッキングシステムとは

イリジウム衛星とローパワー無線を利用したトラッキングシステムを車載することにより同じシステムを搭載している前走車が停車もしくはスロウダウンをモニターで確認ができます。また前方に車載が停止している場合にコースクリア(OK)もしくは緊急サポート(SOS)の情報もモニタースクリーンに表示されるシステムです。システム全体の機能及び取り付け等の詳細はウェブサイトをご覧ください。

<http://rallysafe.com.au/>



● 貸し出しの詳細／貸出料金

1、Rally safe Unit本体(右写真のディスプレイ部)

2、アンテナキット(右写真の内容となります。)

／3,000円(エントリーブックレットより注文)

- ・ GPSアンテナ
- ・ 取り付けブラケット
- ・ 電源ハーネス

取り付けは参加者各自で行なっていただきます。本体を除き、公式車検までに取り付けを行なって下さい。



貸出し方法

アンテナキットは9月12日(水)参加確認時に貸出。車検までに取り付けの準備を整えて下さい。本体は車検時に貸出致します。

返却方法

基本的には最終パルクフェルメ前にて回収しますので、最終サービスで車両より取り外し、返却準備願います。パルクフェルメ前にラリーセーフのスタッフがおりますので返却下さい。リタイヤ等で最終パルクフェルメ前で返却出来ない場合は、9月16日(日)21:00までにHQ内大会事務局に必ず返却して下さい。これに遅れると国際郵便での発送となる場合があります。その際の輸送費は参加者にお支払いいただきます。

● Rally safe: 使い方マニュアルビデオ

<http://rallysafe.com.au/competitors-tm/>

Functionalities Overview 機能一覧

Standard Functions 標準的な機能	Detail 詳細
Transit Screen 通過スクリーン	Displayed throughout the event in transport stage 移動区間をイベント中、常に表示
Race Screen レーススクリーン	Displayed whenever vehicle is in competition 車両が競技中にある場合、表示される。
Push to Pass 追い越し警告ボタン	Warns slower forward cars that you intend to overtake 前方を行く遅い車に、追い越しの意思を示す。
Slow Car スローカー警告	Warn oncoming drivers that a vehicle ahead has reached minimum speed 前方車両がスロウダウンしていることを知らせる。
Hazard (Yellow Screen) 警告 (黄色スクリーン)	Warns oncoming drivers that a vehicle ahead is stationary and is in a hazardous position. Distance to hazard is displayed 前方の車両が危険な位置に停止している場合、そこに至るまでの距離を表示する。
OK (Green Screen) OK (緑スクリーン)	Warns oncoming drivers that a vehicle ahead is stationary but not in a hazardous position. Approaching vehicles are safe to pass at current speeds. Distance to hazard is displayed 前方車両が停止しているが、安全を阻害しない位置にある場合で、後続車両が競技スピードで通過する事が出来る時に表示される。また停止車両までの距離を表示する。
SOS (Red Screen)Flashing SOS (赤色スクリーン) 点滅	Warns oncoming drivers that a vehicle ahead is stationary, in a hazardous position and is in need of urgent assistance Distance to hazard is displayed 前方の車両が危険な位置に停止しており、緊急サポートが必要な場合で、そこに至るまでの距離を表示する。
SOS Acknowledged (Red Screen)Solid SOS 認識 (赤色スクリーン) 表示	Warns oncoming drivers that a vehicle ahead is stationary, in a hazardous position and it has been acknowledged that assistance is required. Distance to hazard is displayed 前方の車両が危険な位置に停止しており、緊急サポートの必要性が既に認識されている場合、そこに至るまでの距離を表示する。
Timing タイミング	Timing unit has the ability to time from 1 sec to .01 sec depending on event requirements. Timing to .001 is in development Stage and race times can be viewed on screen イベントにより、1秒から0.1秒までの計測が可能。0.01秒までの計測については開発中で、レースのタイムはスクリーンで確認可能。
Additional Functions 追加機能	Detail 詳細
Stalled car on grid Race safe only ストールした車両がいる場合の、グリッドレースでの安全	Warns cars of stalled vehicle ahead and displays distance to the vehicle. Grid position can be displayed 前方でストールした車両までの距離を表示する。グリッドのポジションも表示可能。
Flag signals フラッグシグナル	Any flag signals can be displayed automatically or manually by race control. Can include Red flag or Abandon Race レースコントロールからフラッグシグナルを自動又は主導で表示させる事が可能。赤旗やレース中止なども表示できる。
Speed restrictions スピード制限	All forms of speed restrictions are displayed and logged from Restart speed post safety car to pit lane speeds etc 全ての形式のスピード制限を表示する事が出来、セーフティカー退避後の再スタートスピードからピットレーンスピードなどまで記録する事が出来る。
Max Speed 最高速度	Warns competitors that they have reached or exceeded the maximum speed allowed for the event. This notification is logged to unit and can be reviewed for infringement identification イベントで認められている速度に達したもしくは超過したコンペティターに警告する。この警告はユニットに記録され、違反検証に使用する事が出来る。
Virtual Footage 仮想記録	Virtual footage of vehicles is available 車両の仮想記録を使用する事が出来る。

12.3 ETC

ラリー北海道のオーガナイザーは、海外参加者にETC車載器とETCカードを貸し出します。公式車両検査前に各参加者は各自で競技車に取り付けて下さい。日本の参加者は大会前にETC車載器の取り付け、及びETCカードの用意をご自身で行ってください。

● ETCとは

ETC=Electronic Toll Collection Systemは、クルマに取り付けた車載器と料金所のアンテナが無線で交信することで、クルマは料金所をスムーズ(通過時の速度は約20km/h以下を厳守)に通過することができます。支払いのためのタイムロスがなく、料金所で現金が必要ありません。通行料金はクレジットカードの機能を利用したETCカードにチャージされます。

また、料金支払いのためのストップ＆ゴーを繰り返すことがなくなりますので、料金所付近の騒音や排気ガスが軽減され、周辺環境の改善にも貢献します。またアイドリング等による排気ガスの軽減にともない、地球温暖化の抑止にも効果を発揮します。

ETCのより詳しい説明はこちらのウェブサイトをご覧ください

<http://www.go-etc.jp/>



● 貸し出しの流れ

1. 参加確認時(水曜日)にセットアップされたETCセットを貸出します。

貸出しセット

- ・ ETC車載器本体/1台
- ・ ETCアンテナ/1台
- ・ ETCカード/1枚

貸出し料金

- ・ 13,000円
- ・ 高速道路の通行料金込
- ・ 使用は競技期間2日間限定(9月15日 ~ 16日)

2. 公式車両検査時に電波の受発信テストを実施します。

3. 9月16日競技終了時~17日、HQ閉鎖時(12:00)までにHQ内大会事務局へ必ず返却のこと。

13 車検、封印とマーキング

13.1 公式車両検査の場所と日程

場所: スーパーピット中央店
住所: 帯広市西8条南9丁目10
日時: 2018年9月13日(木) 13:00~19:00
2018年9月14日(金) 08:30~12:30

競技車両は2018年09月12日(水)09時00分に公式掲示板にコミュニケーションとして発表される車検スケジュールに従って車検を受けなければならない。

全ての車両のギアボックスとデフおよび予備のギアボックスとデフのマーキング、および全てのターボチャージャー付き車両のターボチャージャーシーリングは公式車両検査と同時に行なわれる。

13.2 再車検

APRC

場所: スーパーピット中央店
住所: 帯広市西8条南9丁目10
日時: 2018年9月16日(日) 18:50~

全日本

場所: 北愛国サービスパーク
日時: 2018年9月16日(日) 15:40~

14 シェイクダウン

シェイクダウンは北愛国サービスパークに隣接しているSSS Sammy SATSUNAIで行います。

APRC選手権/アジアカップに登録しているドライバー及びオーガナイザーが指名したドライバーの参加が義務付けられています。詳細は以下の通りです。

場所: SSS Sammy SATSUNAI (北愛国サービスパークより3.24km)
ステージ距離: 1.47km
日時: 2018年9月14日(金) 12:00~13:00

15 スタート

競技開始前に北愛国サービスパーク会場においてラリーショー、フォトセッションを行ない、セレモニアルスタートを行なう。

詳細はラリーガイド2に示す。

16 フィニッシュ

フィニッシュセレモニーの詳細はラリーガイド2に示す。

17 PRイベント

17.1 ウェルカムパーティー

日時: 2018年9月13日(木) 19:30～
場所: 北愛国サービスパーク
内容: 国際ラリー支援歓迎実行委員会主催による立食パーティー
対象: 選手・チーム員・競技関係者、ゲスト

17.2 プレイベントメディアコンファレンス

日時: 2018年9月14日(金) 14:30～
場所: メディアセンター
内容: APRCのトップクルーの記者会見及び全日本ラリー選手権トップクルーの記者会見

17.3 ラリーショー

日時: 2018年9月14日(金) 15:45～16:20
場所: 北愛国サービスパーク
内容: サービスパークのメイン通路で競技車の展示とクルーによるサイン会

17.4 フォトセッション

日時: 2018年9月14日(金) 16:25～16:35
場所: 北愛国サービスパーク
内容: 全ドライバー＆コ・ドライバー参加の記念撮影

17.5 開会式およびセレモニアルスタート

日時: 2018年9月14日(金) 16:45～
場所: 北愛国サービスパーク
内容: ポディウムプレゼンテーション

17.6 ラリーパーク

日時: 2018年9月15日(土) 15:30頃～
(時刻は変更の可能性があります)
場所: 道の駅:ステラ本別(本別町)
内容: インタビュー&観客の間を徐行通過

日時: 2018年9月16日(日) 07:10頃～
(時刻は変更の可能性があります)
場所: 道の駅:銀河ホール21(足寄町)
内容: インタビュー&観客の間を徐行通過

17.7 セレモニアルフィニッシュ / ファイナルメディアコンファレンス

日時: 2018年9月16日(日) 18:15～(全日本は15:09～)
場所: 北愛国サービスパーク
内容: ポディウムプレゼンテーション / 上位3クルーによる記者会見

18 メディア

18.1 メディアの連絡先と担当者

メディアオフィサーに申請方法やメディア設備についてお問合せください。

メディアオフィサー:	河野 功
住所:	RALLY HOKKAIDO大会事務局内 メディア 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 邦明ビル
Tel:	011-864-2003
Fax:	011-864-1182
Eメール:	media@rally-hokkaido.com
Web:	www.rally-hokkaido.com

18.2 メディア申請の手順と資格、締切り

ラリー北海道で取材を行なう各媒体は、メディア登録が必要となります。メディア申請書と添付する各書類の説明は、7月24日(火)にラリー北海道公式ウェブサイトwww.rally-hokkaido.comの「メディア」ページに掲載されます。書類に不備がないかをご確認の上、メディア申請書と全ての添付書類を締切日[8月24日(金)18:00(必着)]までに、7月24日に公式ウェブサイトに掲載される宛先に送付してください。疑問や質問がありましたら、事務局までお問合せ下さい。

注:メディア登録はプロのメディアに限られており、申請者は基本的な日本語または英語のスキルを持っていない限りなりません。専属通訳(1名につきメディア1名)は認められますが、同行するメディアと合わせて登録をしなければなりません。

締切日:8月24日 金曜日18:00 必着

18.3 メディアブリーフィング

ラリー北海道で取材を行なう各媒体は、必ずメディアブリーフィングに参加しなければなりません。ブリーフィングへの参加をもってメディアパスの配布、メディアタバードの貸出を行ないます。

日時: 9月14日(金)15:00～
開催場所: メディアセンター(HQ内)

19 クレデンシャルと車両通行証

クレデンシャルと車両通行証に関してはラリーガイド2に詳細を示します。

20 医療とセーフティサービス

20.1 緊急時のサービス

緊急時の連絡先は以下のとおりです。

火事および救急車	119
警察	110

帯広厚生病院は帯広市の中心部に位置する広域中核病院です。病院側には当日ラリーが開催される事を事前に説明しており、英語に堪能なスタッフも常駐しています。

北愛国サービスパークに最寄りの病院は、北斗病院です。こちらにも当日ラリーが開催される事を事前に説明してあります。

病院名	電話番号	住所
帯広厚生病院	0155-24-4161	帯広市西6条南8-1(西14条南9丁目へこの秋移転予定)
北斗病院	0155-48-8000	帯広市稲田町基線7番地5

夜間・休日に開業している病院は、北海道救急医療情報案内センターに照会して下さい。

北海道救急医療情報センター	http://www.qq.pref.hokkaido.jp
フリーダイヤル:0120-20-8699	携帯電話・PHSから:011-221-8699

20.2 レッカーサービス

レッカー／トランスポーター	所在地	電話番号	フリーダイヤル
ランドマーク33	帯広市西2条南33丁目20	0155-48-4616	0120-747-110
尾畑商会	帯広市西20条北2丁目27-3	0155-33-3900	0120-494-988
前田自動車工業	中川郡本別町共栄43-10	0156-22-3002	
ボディーショップクニイ	足寄郡足寄町西町9-1-2	0156-25-4607	

20.3 薬局

薬局	所在地	電話番号
ツルハドラッグ 帯広南店	帯広市西5条南18丁目3	0155-20-3533
稲田店	帯広市稲田町南9線西9	0155-49-2066
札内店	幕別町札内共栄町163	0155-20-3825

20.4 歯科医院

歯科医院	所在地	電話番号	
つがやす歯科医院	帯広市西10条南9丁目5-5	0155-21-2002	
十勝歯科保健センター	帯広市東7条南9丁目15-3	0155-25-2172	時間外緊急治療のみ

21 総合案内

21.1 概要

空港:	羽田空港からとちぎ帯広空港へは毎日7便が運行しています。日本航空(JAL)が4便、北海道国際航空(AIR DO)と全日空(ANA)の共同運行便が3便運航しています。空港から帯広市街への移動にはシャトルバス(1,000円)があり、所要時間は約40分です。また、タクシー・レンタカーも空港ですぐに手配できます。
鉄道:	帯広駅にJR北海道の特急列車が運行されています。所要時間は札幌駅から約2時間50分。新千歳空港から約2時間30分。
現金:	<日本語版では省略します>
通貨:	<日本語版では省略します>
標高:	サービスパーク(北愛国):40m リクベツサービス:217m
電気:	<日本語版では省略します>
大使館・領事館:	<日本語版では省略します>
国際電話:	<日本語版では省略します>
携帯電話:	<日本語版では省略します>
営業時間:	<日本語版では省略します>
人口:	<日本語版では省略します>
祝日:	<日本語版では省略します>
降雨量(帯広)	9月平均: 138.1mm
日の出	(9月16日)05時05分 (情報: http://keisan.casio.jp/)
日の入	(9月16日)17時37分 (情報: http://keisan.casio.jp/)
税金:	<日本語版では省略します>
気温(帯広)	9月:最高気温:21.5℃、最低気温:12.1℃、平均気温:16.3℃
時間帯:	<日本語版では省略します>
チップ	<日本語版では省略します>
ビザ/査証:	<日本語版では省略します>
水:	通常の水道水は飲むことができます。ホテルの中にはリサイクル・ウォーターを使用しているところもありますが、その場合はその旨明記されています。

21.2 電話

日本の携帯電話網は3G/LTEをサポートしているものの、GSMIはなく、お持ちの携帯電話がGSMのみをサポートしている場合は日本国内では動作しません。日本にてローミングで携帯電話を使用する事を考えている場合は、ご自身の携帯電話の機種および契約会社について事前にご確認下さい。

■携帯レンタルショップ

SoftBank Global Rental

日本語サイト <http://www.softbank-rental.jp/inbound/>

英語サイト <http://www.softbank-rental.jp/e/>

JAL-ABC

日本語サイト https://www.jalabc.com/rental_service.html

■国際空港での携帯電話とモバイルWifiルーターのレンタル

成田空港 https://www.narita-airport.jp/en/service/svc_19

関西空港 <https://www.kansai-airport.or.jp/service/internet/03.html>

羽田空港 <http://www.haneda-airport.jp/inter/en/premises/service/internet.html#mobilePhone>

新千歳空港 http://www.new-chitose-airport.jp/ja/service/internet_fax_copy/wifi/ (Wifi router)

http://www.new-chitose-airport.jp/ja/service/internet_fax_copy/sim_card/ (SIM Card)

■海外からの旅行者向けSIMカード

3GやLTEをサポートするSIMフリーの携帯電話をお持ちであれば、現地にて購入したSIMカードであなたの電話器を使う事が可能かもしれません。Japan Travel SIMという製品が、海外からの旅行者向けに提供されています(有効期限と通信データ量に制限がかかります)。詳細は以下をご覧ください。

Japan Travel SIM: <https://t.iijmio.jp/index.html>

- 動作確認機種: <https://t.iijmio.jp/dv/>

- 音声通信の有効化: <https://t.iijmio.jp/qa/index.html> (Q5/A5)

■公衆電話

<日本語版では省略します>

■インターネット接続

<日本語版では省略します>

21.3 運転および運転免許証

<日本語版では省略します>

21.4 銀行／クレジットカード／現金

<日本語版では省略します>

21.5 帯広へのアクセス

サービスパークとHQが設置される帯広市への行き方は以下の通りです。

東京／成田空港から羽田空港へ：

成田国際空港から羽田空港までのエアポートリムジンバスが利用できます。運賃は3,100円です。

羽田空港で日本航空(JAL)へ乗り継ぐ場合は第1ターミナルで、全日空(ANA)・エアドウへ乗り継ぐ場合は第2ターミナルで降りてください。標準所要時間は65～85分です。

東京／羽田空港からとち帯広空港へ：

羽田空港からとち帯広空港へは毎日7便が運行しています。日本航空(JAL)が4便、北海道国際航空(AIR Do)と全日空(ANA)の共同運行便が3便運行しています。JALは第1ターミナルより、AIR Do & ANAは第2ターミナルより出発致します。

札幌／新千歳空港からJR帯広駅へ：

列車でお越しの方は、新千歳空港から約3分後の南千歳駅で特急に乗り換えて、帯広駅で下車してください。運賃(片道)は約6,600円です。

札幌／新千歳空港から車で帯広へ：

車でお越しの方は、千歳ICまたは千歳空港ICから、高速道路に乗り、まず札幌方面に向かって下さい。千歳ICより約9km先の千歳恵庭JCTにて道東自動車道に入り、約140km先の帯広JCTに進んで下さい。帯広JCTでは左に入り、「帯広・広尾」方面に進んで下さい。北愛国サービスパークに最寄りのICは帯広川西ICです。

とち帯広空港から帯広市内へ：

到着便および出発便に合わせて、空港と帯広市内のホテルを結ぶシャトルバス(運賃:1,000円)が運行しています。タクシーやレンタカーも空港で手配することができます。所要時間は約40分です。

帯広からHQへ：

HQが設置される十勝オーバル管理棟へはJR帯広駅より車で約10分、とち帯広空港から車で約40分です。

21.6 ビジネスディレクトリー

航空会社	所在地	電話番号	フリーダイヤル
日本航空 (JAL) 国内線	東京	03-5460-0522	-
日本航空 (JAL) 国際線	東京	03-5460-0511	-
全日空 (ANA) 国内線	東京	03-6741-8800	-
全日空 (ANA) 国際線	東京	03-6741-6685	-
エールフランス航空	東京	03-5767-4143	-
エア・インディア	東京	03-3508-0261	-
ニュージーランド航空	東京	03-5521-2770	-
アリタリア航空	東京	03-5413-8070	-
アメリカン航空	東京	03-3298-7677	-
ブリティッシュエアウエイズ	東京	03-3298-5238	-
キャセイパシフィック航空	成田	03-6746-1000	0120-46-3838
フィンランド航空	東京	03-3222-6801	0120-700-915
ルフトハンザドイツ航空	東京	03-4333-7656	0120-051-844
マレーシア航空	東京	03-5733-2111	-
カンタス航空	東京	03-6833-0700	0120-207-020
スカンジナビア航空	東京	03-5400-2331	-
シンガポール航空	東京	03-3213-3431	-
タイ国際航空	東京	03-3503-3311	-
ユナイテッド航空	東京	03-6732-5011	-

金融機関/ATM/両替	所在地	ATM営業時間	営業時間
帯広郵便局ATM	帯広市西3条南8丁目10	平日: 土・日曜日・休日:	08:45-19:00 09:00-17:00
JR帯広駅内郵便局ATM	JR帯広駅内(1階北側改札口裏) 帯広市西2南12丁目	平日: 土・日曜日・休日:	09:00-19:00 09:00-17:00
帯広長崎屋内郵便局ATM	長崎屋内(JR帯広駅南側) 帯広市西4条南12丁目3	平日: 土・日曜日・休日:	09:00-19:00 09:00-17:00
北海道銀行帯広支店ATM	帯広市西3条南9丁目	平日: 土・日曜日・休日:	08:45-19:00 09:00-17:00
北洋銀行帯広中央支店ATM	帯広市西2条南12丁目1	平日: 土・日曜日・休日:	08:45-21:00 09:00-21:00

バス	所在地	電話番号	
北海道拓殖バス	音更町然別北5線西37	0155-31-8811	
十勝バス	帯広市西23条北1丁目1-1	0155-37-6500	
帯広駅バス待合所	帯広駅バスターミナル	0155-23-5171	(十勝バス)
毎日交通(貸切バス)	帯広市川西町基線24-13	0155-59-2201	

お弁当(ケータリング)	所在地	電話番号
梅屋	帯広市西4条南17丁目13	0155-27-1241
すずらん	帯広市西4条南2丁目8	0155-22-2782
すだや	帯広市柏台台北町1丁目40	0155-34-5010
フーズジャパン	帯広市西18条南4丁目43-5	0155-38-3021

コンピューター修理サービス	所在地	電話番号
パソコンランド帯広	帯広市東2条南19丁目16	0155-24-4648
Byte In	帯広市東1条南13丁目1-2	0155-22-7003
曽我	帯広市西15条南28丁目1-8	0155-47-3111

コンビニエンスストア

帯広市街及び周辺にはローソン、セブンイレブン、セイコーマートといったコンビニエンスストアが多くあります。ほとんどの店は24時間営業で、店内には銀行ATM、コピー機が設置されています。

カーディーラー	所在地		
帯広三菱自動車本店	帯広市大通南23丁目	0155-24-1115	
帯広スバル自動車	帯広市西13条北1丁目	0155-36-1251	
スズキアリーナ帯広中央	帯広市大通南5丁目6	0155-28-2525	
道東ダイハツ販売 帯広支店	帯広市西16条北1丁目	0155-34-5562	
ホンダカーズ帯広 札内店	幕別町札内共栄町176-7	0155-23-1211	
ホンダカーズ帯広 西17条店	帯広市西17条北1丁目31-8	0155-35-2505	
帯広日産自動車 南29丁目店	帯広市大通南29丁目2	0155-23-4123	
釧路トヨタ自動車 音更店	音更町木野大通東13丁目1	0155-31-4181	
帯広トヨペット 本店	帯広市大通南6丁目17	0155-24-4167	
トヨタカローラ帯広 本店	帯広市大通南2丁目1	0155-25-5121	
ネットトヨタ帯広 アベニュー店	帯広市大通南18丁目15	0155-24-3162	
フォード北海道 帯広店	帯広市西20条北1丁目3-5	0155-33-1251	北海自動車工業
デパート			営業時間
藤丸	帯広市西2条南8丁目1	0155-24-2101	10:00-19:00
長崎屋	帯広市西4条南12丁目3	0155-25-3810	10:00-21:00
イトーヨーカドー	帯広市稲田町南8線西10-1	0155-47-8111	09:00-20:00
家電量販店			営業時間
ヤマダ電機テックランド帯広店	帯広市西13条北1丁目1-32	0155-58-1011	10:00-21:00
100満ボルト 帯広本店	帯広市稲田町南9線西11-1	0155-48-3939	10:00-20:00
ハラデンキ 本店	帯広市大通南12丁目6	0155-22-5522	9:00-18:00
設備レンタル			
共成レントム 帯広営業所	帯広市西18条北1丁目14	0155-33-2211	
カナモト 帯広営業所	河西郡芽室町東芽室基線8-1	0155-61-2332	
レントオール帯広	河東郡音更町木野大通東1丁目3-2	0155-31-7610	
消火器/消防用設備・用品			
総合防災	帯広市西11条南2丁目3-2	0155-34-1364	販売
ヤマト商会	帯広市東10条南7丁目1-15	0155-22-2128	販売
イベント、会合、パーティー会場			
北海道ホテル	帯広市西7条南19丁目1	0155-21-0001	
十勝幕別温泉グランヴィリオホテル	幕別町字依田384-1	0155-56-2121	ルートインSpa
ホテル日航ノースランド帯広	帯広市西2条南13丁目1	0155-24-1234	JR北海道ホテルズ
十勝農園	帯広市西1条南9丁目6	0155-26-4141	カジュアルレストラン
ハードウェアストア / DIY / 大型ディスカウントストア			
DCM ホームマック 稲田店	帯広市稲田町南9線西9-1	0155-49-1101	
ドライクリーニング及びコインランドリー			営業時間
エンパイアクリーニング長崎屋店	帯広市西4条南12丁目-3	0155-21-7740	10:00-20:00
鍵屋			
ロックサービスかぎ屋	帯広市西2条南16丁目6	0155-23-6969	09:00-20:00
コアロック 本店	帯広市西5条南15丁目4-3	0155-25-2584	09:00-21:00
地図/書店			
TSUTAYA 帯広イーストモール店	帯広市東4条南16丁目6	0155-28-3728	09:00-24:00
宮脇書店 帯広店	帯広市稲田町南8線西10-1	0155-49-6211	イトーヨーカ堂内
ザ・本屋さん WOW店	帯広市西4条南29丁目	0155-28-2111	10:00-22:00
窒素・酸素ボンベ	所在地	電話番号	
北海道エア・ウォーター 帯広支店	帯広市西5条南5丁目4	0155-25-2231	
カイロプラクティック/クリニック			営業時間
タカハシスポーツ整体院	帯広市南町東1条5丁目14-15	0155-48-3839	09:00-23:00
安治整体療術院	帯広市西2条南4丁目1-3	0155-26-4678	
せきぐち治療院	帯広市東3条南9丁目1	0155-23-5783	09:00-25:00
警備会社			
三和警備	帯広市西5条北2丁目7	0155-22-0511	

看板/シートカットイン

ワタナベエ芸	河東郡音更町新通9丁目1	0155-42-2441
ノブ	帯広市大通南4丁目14	0155-22-6918
アートのスペース	帯広市東1条南9丁目3	0155-23-3900
中島自エデコラ事業部	帯広市西20条北1丁目3-32	0155-33-3141
エポック	帯広市西8条北1丁目5-1	0155-28-5006
フジ工房	帯広市大通南26丁目13	0155-22-6880

スーパーマーケット

営業時間

長崎屋 帯広店	帯広市西4条南12丁目3	0155-25-3810	10:00-21:00
イオン帯広店	帯広市西4条南20丁目1	0155-24-3100	09:00-21:00
ダイイチ 東店	帯広市東4条南12丁目1	0155-23-8448	10:00-22:00
マックスバリュ 稲田店	帯広市西5条南35丁目2-26	0155-47-0100	09:00-21:45
ぴあざフクハラ 西18条店	帯広市西18条北1丁目30	0155-38-3066	24時間営業

タクシー会社

音更タクシー	河東郡音更町大通1丁目2	0155-42-2012
日の丸交通	帯広市西19条南1丁目7-38	0155-33-8850
まりもハイヤー	帯広市大通南17丁目12	0155-23-8181
帯広ハイヤー	帯広市西19条南1丁目7	0155-33-8844
十勝中央観光タクシー	帯広市西19条南1丁目7-30	0155-33-9595
東洋タクシー	帯広市西18条南2丁目11	0155-33-3939
帯広個人タクシー協会	帯広市西9条南34丁目15-1	0155-48-5141

タイヤ

ピレリジャパン株式会社	東京	03-5418-6500
ヨコハマタイヤジャパン	帯広市西13条北3丁目1-24	0155-35-3544
北海道カンパニー帯広営業所		
ダンロップタイヤ北海道 帯広支店	帯広市西19条南1丁目7-10	0155-41-2431
ブリヂストンタイヤジャパン	帯広市西2条北2丁目10-1	0155-26-8181
北海道カンパニー帯広営業所		

洗車

ガソリンスタンド	洗車及びバキューム設備あり
----------	---------------

板金修理

帯広地方自動車整備振興会	帯広市西19条北1丁目8-3	0155-33-3166
--------------	----------------	--------------

関連スเปアパーツ、バッテリー、蒸留水、オイル&その他

DCMホームマック 稲田店	帯広市稲田町南9線西9-1	0155-49-1101
イエローハット 帯広店	帯広市西5条南16丁目6	0155-26-1680
オートバックス 帯広店	帯広市西6条北1丁目8	0155-23-5500
SKスポーツ	帯広市西22条南4丁目33-9	0155-41-1151

溶接

帯広地方自動車整備振興会	帯広市西19条北1丁目8-3	0155-33-3166
--------------	----------------	--------------

フロントガラス

所在地

電話番号

十勝ガラス	帯広市西23条北2丁目17-10	0155-37-0022
キリヤガラス店	帯広市西6条北1丁目12-2	0155-24-3246

オフィシャルレンタカー会社

ラリー北海道のオフィシャルレンタカー会社は、ニッポンレンタカーです。
8月1日(水)よりラリー北海道関係者限定特別優待料金での予約を行う事が出来ます。
関係者向け予約サイトは
ラリー北海道ホームページ <http://www.rally-hokkaido.com> にて発表致します。



帯広空港前営業所	空港内レンタカーカウンターまで	0155-64-5065
帯広駅前営業所	帯広駅北口側(西1条南12丁目)	0155-22-0919
千歳空港営業所	空港内レンタカーカウンターまで	0123-26-0919

付則

付則A: アイテナリー

- A1 アイテナリー
- A2 過去のラリー北海道との比較
- A3 レッキスケジュール

付則B: マップ

- B1 全体図/ルートマップ
- B2 帯広市マップ

付則C: 図面及びレイアウト

- C1 北愛国サービスパークレイアウト
- C2 陸別サービスレイアウト

付則D: フォーム

- D1 宿泊予約申込書
- D2 エントリーブックレット申込書
- D3 無線局諸元調書

A.1 Itinerary

Itinerary						
Start Leg 1A Friday 14 September 2018						
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
0	Start Leg 1 - (Kita Aikoku)					17:37
RZ	Refuel - Kita Aikoku					
1	Distance to next refuel	1.47	85.17	86.64		
1	Obihiro		3.24	3.24	0:20	17:57
SS1	SSS Sammy SATSUNAI 1	1.47				18:00
1A	Parc Ferme IN		1.47	2.94	0:10	18:10
Overnight regroup						
Start Leg 1B Saturday 15 September 2018						
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
1B	Parc Ferme OUT - Service IN					6:00
	Service A - Kita Aikoku	1.47	4.71	6.18	0:15	
1C	Service - OUT					6:15
RZ	Remote Refuel - Kamitoshibetsu					
2	Distance to next refuel	56.87	145.21	202.08		
2	Rikubetsu		103.03	103.03	2:10	8:25
SS2	RIKUBETSU LONG 1	4.63				8:28
3	Kayama		11.92	16.55	0:28	8:56
SS3	YAM WAKKA 1	23.49				8:59
4	Shotoshibetsu		7.75	31.24	0:38	9:37
SS4	KUNNEYWA 1	28.75				9:40
RZ	Remote Refuel - Kamitoshibetsu					
3	Distance to next refuel	61.50	90.93	152.43		
5	Rikubetsu		45.08	73.83	1:26	11:06
SS5	RIKUBETSU LONG 2	4.63				11:09
5A	Regroup and Technical Zone IN		0.20	4.83	0:07	11:26
5B	Regroup and Technical Zone OUT					
	Service IN					
	Flexi - Service B (Rikubetsu)	61.50	167.98	229.48	0:20	
5C	Service OUT - Regroup IN					
5D	Regroup OUT					12:16
6	Kayama		11.62	11.62	0:28	12:44
SS6	YAM WAKKA 2	23.49				12:47
7	Rikubetsu		14.61	14.61	0:20	13:07
SS7	RIKUBETSU LONG 3	4.63				13:10
8	Shotoshibetsu		19.42	24.05	0:30	14:10
SS8	KUNNEYWA 2	28.75				14:03
RZ	Remote Refuel - Kamitoshibetsu					
4	Distance to next refuel	1.47	93.72	95.19		
8A	Regroup IN		111.49	140.24	3:27	17:30
	Regroup				0:10	
8B	Regroup OUT					17:40
9	Obihiro		3.15	3.15	0:10	17:50
SS9	SSS Sammy SATSUNAI 2	1.47				17:53
9A	Parc Ferme and Technical Zone IN		1.47	2.94	0:10	18:03
9B	Parc Ferme and Technical Zone OUT					
	Service IN					
	Flexi - Service C (Kita Aikoku)	58.34	161.76	220.10	0:45	
9C	Flexi - Service OUT - Parc Ferme IN					
All cars must be returned to Parc Ferme no later than (21:38)						
Note 1 : At the 20 min service, crew have a maximum of 25 min to move their cars into the Service Park. Note 2 : At the 45 min service, crew have a maximum of 50 min to move their cars into the Service Park.						
Leg 1 Totals		121.31	334.45	455.76		

2018.3.31ver.1.02

Leg2 forAPRC

Rally Hokkaido 14-16 Sep. 2018						
Itinerary						
Start Leg 2			Sunday 16 September 2018			
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
Start Leg 2 (Kita Aikoku Service Park)						
9D	Service IN					5:00
Service D (Kita Aikoku)					0:15	
9E	Service OUT					5:15
RZ 5	Refuel - Kita Aikoku Distance to next refuel	19.91	94.17	114.08		
10	Otofuke		29.66	29.66	0:42	5:57
SS10	OTOFUKE REVERSE 1	6.12				6:00
11	Honbetsu		35.70	41.82	0:51	6:51
SS11	NEW HONBETSU 1	13.79				6:54
RZ 6	Refuel - Kamitoshibetsu Distance to next refuel	30.24	45.27	75.51		
12	Pawse Kamuy		30.77	44.56	1:01	7:55
SS12	PAWSE KAMUY 1	10.40				7:58
13	Ashoro		18.19	48.43	0:33	8:31
SS13	ASHORO LONG 1	19.84				8:34
RZ 7	Refuel - Kamitoshibetsu Distance to next refuel	6.12	91.38	97.50		
14	Otofuke		85.86	105.70	2:06	10:40
SS14	OTOFUKE REVERSE 2	6.12				10:43
14A	Regroup and Technical Zone IN		30.76	36.88	0:45	11:28
14B	Regroup and Technical Zone OUT Service IN					
Flexi - Service E (Kita Aikoku)		56.27	230.94	287.21	0:20	
14C	Service OUT - Regroup IN					
14D	Regroup OUT					12:18
RZ 8	Refuel - Kita Aikoku Distance to next refuel	13.79	90.38	104.17		
15	Honbetsu		61.54	61.54	1:22	13:40
SS15	NEW HONBETSU 2	13.79				13:43
RZ 9	Refuel - Kamitoshibetsu Distance to next refuel	30.24	45.27	75.51		
16	Pawse Kamuy		30.58	44.37	1:01	14:44
SS16	PAWSE KAMUY 2	10.40				14:47
17	Ashoro		18.19	48.43	0:33	15:20
SS17	ASHORO LONG 2	19.84				15:23
RZ 10	Refuel - Kamitoshibetsu Distance to next refuel	0.00	105.86	105.86		
17A	Service IN		105.86	125.70	2:32	17:55
Service F (Kita Aikoku)		44.03	216.17	260.20	0:10	
17B	Service OUT - Finish-Holding IN					18:05
Podium Finish					0:10	18:15
Leg 2 Totals		100.30	447.11	547.41		

Note 1 : At the 20 min service, crew have a maximum of 25 min to move their cars into the Service Park.

TOTALS OF THE RALLY				
	SS	Liaison	Total	%
Leg 1 - 9SS	121.31	334.45	455.76	26.62
Leg 2 - 8SS	100.30	447.11	547.41	18.32
Total - 17SS	221.61	781.56	1003.17	22.09

2018.3.31ver.1.02

Leg2 for JRC

     						
Itinerary						
Start Leg 2			Sunday 16 September 2018			
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
Start Leg 2 (Kita Aikoku Service Park)						
9D	Service IN					6:10
Service D (Kita Aikoku)					0:15	
9E	Service OUT					6:25
RZ 5	Refuel - Kita Aikoku Distance to next refuel	19.91	94.17	114.08		
10	Otofuke		29.66	29.66	0:42	7:07
SS10	OTOFUKE REVERSE 1	6.12				7:10
11	Honbetsu		35.70	41.82	0:51	8:01
SS11	NEW HONBETSU 1	13.79				8:04
RZ 6	Refuel - Kamitoshibetsu Distance to next refuel	29.11	45.27	74.38		
12	Pawse Kamuy		30.77	44.56	1:01	9:05
SS12	PAWSE KAMUY 1	10.40				9:08
13	Ashoro		18.19	47.30	0:33	9:41
SS13	ASHORO LONG 1	19.84				9:44
RZ 7	Refuel - Kamitoshibetsu Distance to next refuel	7.59	100.26	107.85		
14	Otofuke		85.86	105.70	2:06	11:50
SS14	OTOFUKE REVERSE 2	6.12				11:53
14A	Regroup and Technical Zone IN		30.76	36.88	0:45	12:38
14B	Regroup and Technical Zone OUT Service IN					
Flexi - Service E (Kita Aikoku)					56.27 230.94 287.21 0:20	
14C	Service OUT - Regroup IN					
14D	Regroup OUT					14:23
15	Obihiro		3.24	3.24	0:15	14:38
SS15	SSS SATSUNAI 3	1.47				14:41
15A	Service IN		1.50	2.97	0:08	14:49
Service F (Kita Aikoku)					1.47 4.74 6.21 0:10	
15B	Service OUT - Finish-Holding IN					14:59
	Podium Finish				0:10	15:09
Leg 2 Totals		57.74	235.68	293.42		

Note 1 : At the 20 min service, crew have a maximum of 25 min to move their cars into the Service Park.

TOTALS OF THE RALLY				
	SS	Liaison	Total	%
Leg 1 - 9SS	121.31	334.45	455.76	26.62
Leg 2 - 6SS	57.74	235.68	293.42	19.68
Total - 15SS	179.05	570.13	749.18	23.90

2018.3.31ver.1.02

A.2 過去のラリー北海道との比較

2018年のラリー北海道は北愛国サービスパークと”SSS Sammy SATSUNAI”を構える帯広を中心に、土曜日は陸別・足寄、日曜日は音更・本別・足寄のスペシャルステージで構成されます。

LEG1は昨年までと同様に金曜日のセレモニアルスタート後に”SSS Sammy SATSUNAI”をSS1として走行するLEG1Aと、土曜日のLEG1Bで構成されます。

LEG1Aはセレモニアルスタートを見た観客が隣接する”SSS Sammy SATSUNAI”も見ることが出来るようになっております。LEG1Bは陸別オフロードサーキットをサービス会場とし、ここを中心として人気の”RIKUBETSU LONG”、”YAM WAKKA”と”KUNNEIWA”に繋がっていきます。そして夕方には帯広に戻ってきて”SSS Sammy SATSUNAI”がこの日最後のSSとなります。

LEG2ではまず毎年使用している”OTOFUKE REVERSE”を走行。次に2015年から距離を伸ばし後半をターマックとした”NEW HONBETSU”、昨年は土曜日に走行した”PAWSE KAMUY”、2011年以来久々に使用する”ASHORO LONG”を走行致します。最後は帯広に戻りフィニッシュとなります。この日のサービスは北愛国サービスパークで早朝・昼・夕の3回行われます。

全体的なラリーの進行は例年同様の構成となっていますので、今年も皆様のスタイルでラリー北海道をお楽しみ下さい。

2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012
SSS Sammy SATSUNAI						
SS1/9	SS1/11/18	SS1/11/18	SS1/11/18	SS1/11/18	SS1/10/17/18	未使用
1.47km	0.96km	1.47km	0.96km	0.94km	2.46km	
2013～2017年に使用。						
RIKUBETSU LONG						
SS2/5/7	SS2/6/7	SS3/6/7	SS2/6/7	SS3/7	SS4/7	SS3/6
4.63km	4.63km	4.63km	4.63km	4.63km	4.63km	4.63km
2005～2017年に使用。						
YAM WAKKA						
SS3/6	未使用	未使用	SS3/8	SS4/8	SS3/6/8	未使用
23.49km			23.49km	14.54km	23.49km	
2013,2015年に使用。また、2014年にはショートコースで使用。						
KUNNEIWA						
SS4/8	SS3/8	SS4/8	SS4/9	SS5/9	未使用	未使用
28.75km	28.75km	24.97km	28.75km	28.75km		
2014～2017年に使用。						
OTOFUKE REVERSE						
SS10/14	SS12/15	SS12/15	SS12/16	SS12/15	SS11/14	SS12/15
6.12km	6.12km	6.12km	6.12km	6.12km	6.12km	(R)
2013～2017年に使用。それ以前はリバースで使用。						
NEW HONBETSU						
SS11/15	SS13/16	SS13/16	SS14/18	SS13/16	SS11/14	SS14/17
13.79km	13.79km	13.79km	13.79km	10.78km	11.03km	(R)
2015～2017年使用。2014年以前は前半部分を使用。後半はターマック。						
PAWSE KAMUY						
SS12/16	SS5/10	SS5/9	SS5/10	SS2/6/10	SS13/16	SS4/7/9
10.40km	10.40km	10.40km	10.40km	10.40km	10.40km	9.98km
2011～2017年に使用。						
ASHORO LONG						
SS13/17	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用
29.11km						
2011年に使用。						

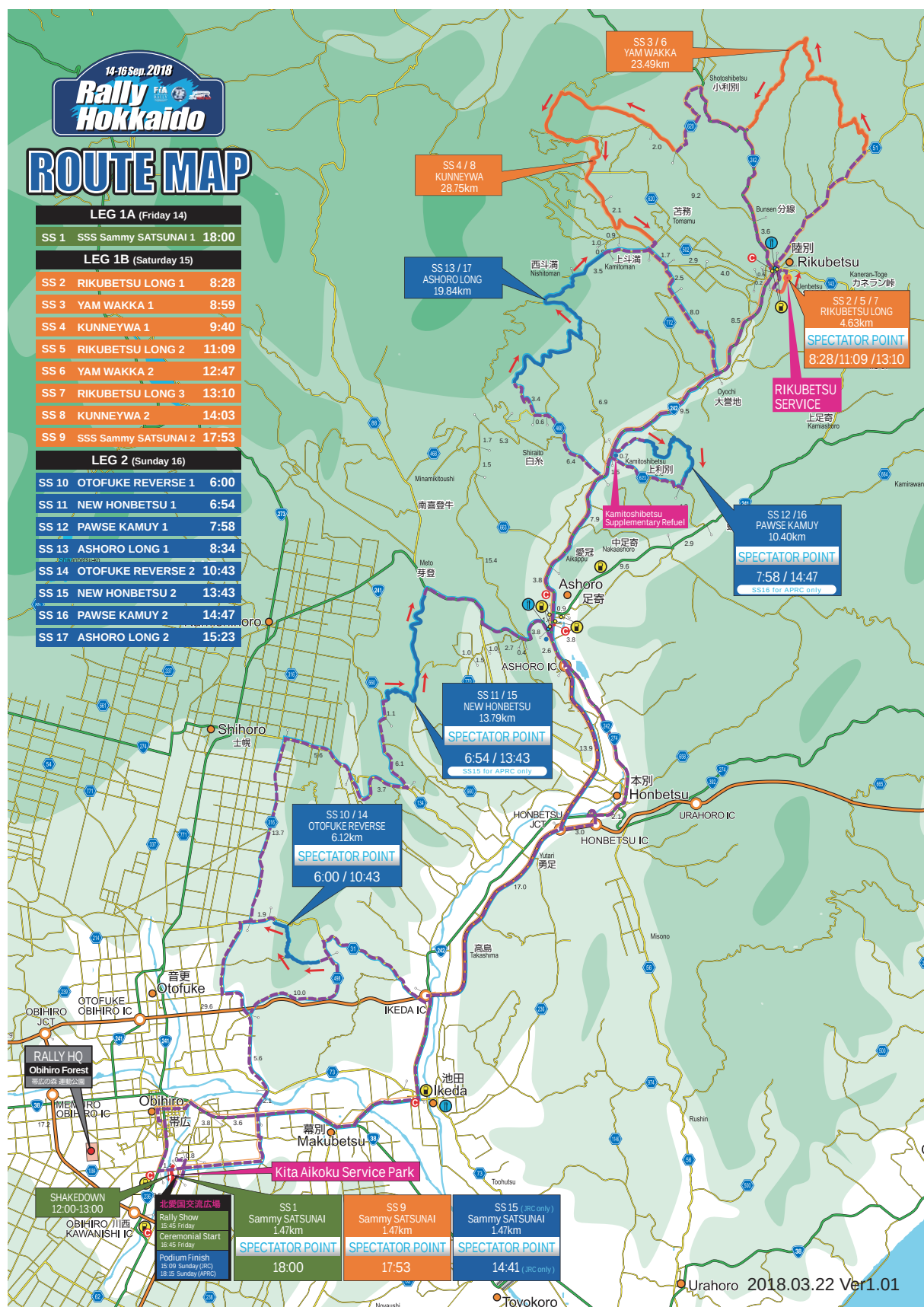
(R):リバースで使用。

■ ■ ■ A.3 レッキスケジュール ■ ■ ■ ■ ■

レッキは以下のスケジュールに従って行ってください。詳細につきましては、特別規則書とラリーガイド2をご覧ください。

9月13日(木)	08時00分～18時00分
9月14日(金)	07時00分～12時00分

B.1 Route Map

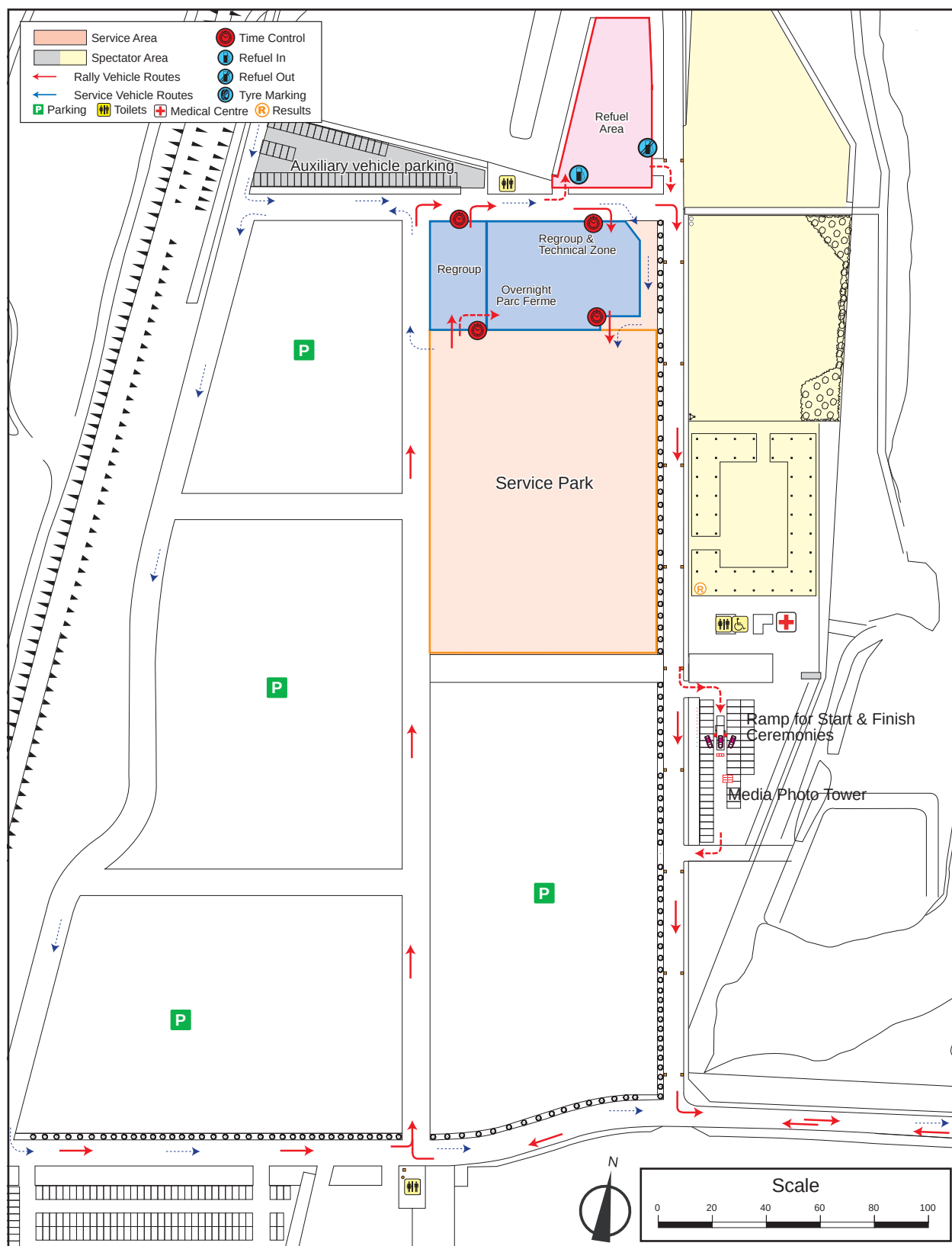


B.2 Map of Obihiro City

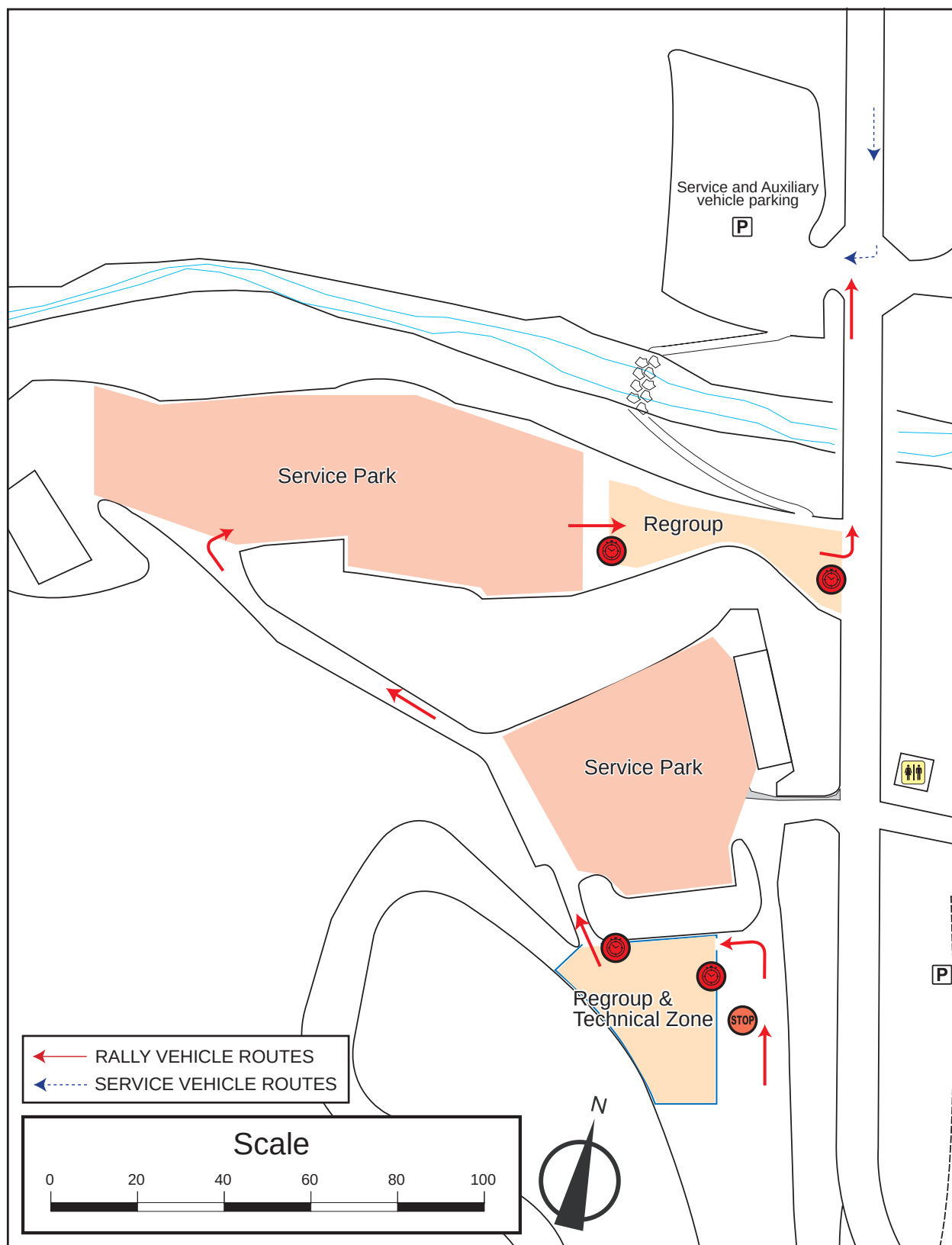




C1 Kita Aikoku Service Park layout



C2 Rikubetsu Service layout



D Forms

Accommodation Booking Form / 宿泊予約申込書

(Applicable for overseas teams only / 海外チーム専用)

Contact Details / 連絡先

Contact Name 担当者名				Type of booking 予約の種類 Competitor & Team ☐ 競技参加者 & チーム員 Media メディア ☐ Other その他 ☐
Organisation Name 団体名				
Address 住所				
Tel 電話		Fax		
E-mail:				

Payment Details / お支払い方法

Payment Method お支払い方法	CashBank 現金 ☐	Bank Transfer 銀行振込 ☐	Credit Card クレジットカード ☐
Contact person at Obihiro 帯広での担当者・連絡先			
Expenses to be included in the invoice 請求額に含むものは？	All / すべて ☐ Other / その他 ☐ Room / 室料 ☐ Breakfast / 朝食代 ☐ Laundry / ランドリー料 ☐ Telephone / 電話代 ☐		

Payment is to be made on-site. / クレジットカードの支払いは現地での清算となります。

Hotel Preferences / 希望ホテル

1st Preferred Accommodation / 第一希望のホテル	
2st Preferred Accommodation / 第二希望のホテル	

Booking Details / 予約内容

Guest Name 宿泊者名	Room Type (SINGL / TWIN) ルームタイプ シングル/ ツイン	Breakfast required (Yes / No) 朝食 (あり・なし)	Room Rate 室 料	Date of Arival 到着日時	Date of Departure 出発日時
1					
2					
3					
4					
5					

A cancellation fee equal to the one night's full room rate will be applicable for any cancellations within 72 hours prior to the scheduled arrival time. チェックイン予定時刻より72時間以内にキャンセルした場合、キャンセル料として1泊分の室料が課せられます。

Booking Conditions / 予約条件

PDF file or fax print-out of booking confirmation is treated as a hotel voucher, and to be presented at the time of check-in.

予約完了のPDFもしくはFAXはパウチャーとなります。チェックイン時に提示して下さい。

Booking requests must arrive at the Rally Secretariat no later than August 25nd.

予約は必ず8月25日までに行なって下さい。

ENTRY BOOKLET / ORDER FORM エントリーブックレット・注文書

This form is to be completed in conjunction with the entry form and submitted to the Rally Hokkaido Permanent Secretariat.
この用紙に記入し、エントリーフォームと一緒に提出してください。

A. Contact Details / 連絡先

Contact Name 担当者名				Type of booking 予約の種類
Organisation Name 団体名				Competitor (one driver) 競技参加者 ☐
Address 住所				Team (more than one driver) チーム ☐
Tel 電話		Fax		Tyre Company タイヤメーカー ☐
E-mail:				Other その他 ☐

I have special requirements for Service Area.

サービスエリアに関する特別な要望をします。

Yes → Please complete Section B. / セクションBにご記入下さい。

Yes ☐

No ☐

I / We will be sharing equipment and crew with another competitor and / or would like to register for flexi-service.

他の競技参加者と機材やクルーを共有します。またはフレキシブルサービスに登録を希望します。

Yes → Please complete Section B. / セクションBにご記入下さい。

Yes ☐

No ☐

I / We will import a vehicle.

車両を輸入します。

Yes → Please complete Section C. / セクションCにご記入下さい。

Yes ☐

No ☐

I / We would like to order additional material.

物品その他を注文します。

Yes → Please complete Section D. / セクションDにご記入下さい。

Yes ☐

No ☐

I / We would like to nominate a time for scrutineering.

公式車検の希望時刻を申請します。

Yes → Please complete Section E. / セクションEにご記入下さい。

Yes ☐

No ☐

I / We would like to import / bring and use two-way radio.

無線を持ち込み、使用します。

Yes → Please complete Page 51. / 51ページにご記入下さい。

Yes ☐

No ☐

B. Special Service Area Requirements / サービスエリアに関する要望

Each competitor will be allocated a 5 x 7.5m space, unless requested and approved otherwise.

各参加者に与えられるスペースは5x7.5mです。追加スペースの要望があり、承認された場合はこれに追加されます。

- B.1.** Request for additional space. If you have a sea container or large service vehicle, please include the dimensions
追加スペースの要望。海上輸送コンテナや大型のサービス車両を持ち込まれる場合は、その大きさを明記してください。

Size required 広さの要望	
------------------------	--

- B.2.** I would like to request to have adjacent service area with another competitor, to share equipment and crew.
他の参加者と機材やクルーを共有するため、サービスエリアの隣接を希望します。

Name of the crew(s) to be shared 他のクルー（複数）の名前	
---	--

- B.3.** I would like to register for flexi-service with the following team / crew
他のチームやクルーとともにフレキシサービスに登録します。

Team names and driver names to share the same flexi-service facility	
Team name / Driver's name (#1)	Team name / Driver's name (#2)
/	/

If you wish to order extra equipment for the Service Park, please provide details in Section D.

サービスパークへ追加の機材を注文したい方は、セクションDにご記入ください。

C. Vehicle Importation / 車両の輸入

Please refer to Section 8 of Rally Guide 1 for more information about importing vehicles. Document (a) will be issued based on the information in the Carnet and available from the Rally Secretariat on arrival. The following vehicle information is required for Document (b) and (c). Please attach additional pages for additional vehicles.

車の輸入についての詳細は、ラリーガイド1のセクション8 をご参照ください。(a)の書類はカルネの情報に基づき発行され、到着時に大会事務局より配布されます。(b)と(c)の書類を取得するためには、下記に車両の詳細を記入しなければなりません。3台目からは用紙を付け足してください。

	Vehicle 1 / 車両1	Vehicle 2 / 車両2
Vehicle Make / メーカー		
Vehicle Model / 型式		
Vehicle VIN number / 車体番号		
Vehicle Type / 自動車の種類		
Vehicle Registration Number / 車両登録番号		
Vehicle Cylinder Capacity / 排気量		
Length / 車両の長さ		
Width / 車幅		
Drivers Name / ドライバー名		
Drivers Date of Birth / ドライバーの生年月日		

D.Request for Additional Materials / 物品その他の注文

Service Park / サービスパーク	Start Date 開始日	Finish Date 終了日	Qty 数量	Price (JPY) 価格 (円)	Subtotal 小計
Extra-large rubbish bins / 特大ゴミ箱 Disposal charge isn't included / 処理料別途				JPY 5,000	
Disposal charge for bins / 上記用ゴミ処分料 (Industrial waste / 産業廃棄物)				JPY 32,000	
It is encouraged to take your waste away with you. Organizer will collect only segregated wastes packed in appropriate waste bags shown below, or industrial waste stored in the extra-large rubbish bins above. ゴミは基本的にお持ち帰り下さい。大会側では上記の特大ゴミ箱または下記の専用ごみ袋に入れた“分別された”ゴミのみを回収致します。					
Waste bags / ゴミ袋 (For Burnable waste / 燃やすゴミ)				JPY 350 / 40Litter	
Waste bags / ゴミ袋 (For Non-burnable waste / 燃やさないゴミ)				JPY 350 / 40Litter	
Waste bags / ゴミ袋 (Recyclable waste / 資源ゴミ)				JPY 200 / 40Litter	
Waste bags / ゴミ袋 (Plastic waste / プラスチックゴミ)				JPY 600 / 40Litter	
Tent / テント (3.6x5.4m) (Delivery charge is included / 運送料金含む)				JPY 37,000	
Prefabricated house / プレハブ (7.2mx2.3m) (Delivery charge is included / 運送料金含む)				JPY 62,000	
Steel plate for ground / 敷鉄板 1.5 x 6m (Delivery charge is included / 運送料金含む)				JPY 16,000	
Table / テーブル				JPY 1,400	
Chair / 椅子				JPY 600	
Power Generator / 発電機 10kVA 100V (Delivery charge is included / 運送料金含む)				JPY 46,000	
Power Generator / 発電機 2kVA 100V (Delivery charge is included / 運送料金含む)				JPY 21,000	
Additional service space (5 x 7.5m) (Only in Kita Aikoku Service Park) / 追加スペース (北愛国のみ)				JPY 31,000	

ETC & Tracking system Rental / ETC & トラッキングシステム レンタル

ETC Rental / ETCレンタル (Toll for Expressway included / 高速料金含む)	*Overseas registration rally car only September 12th			JPY 13,000	
Antenna kit for RallySafe tracking Unit Rental / トラッキングシステム アンテナキット レンタル	September 12th			JPY 3,000	

Installation and use of the RallySafe Tracking System is mandatory in this event.
If you do not have its antenna kit, you will have to either buy or rent one.

本大会においてトラッキングシステムは必ず取り付けが必要です。
トラッキングシステムアンテナキットをお持ちでない方は、必ずレンタルまたは購入しなければなりません。

Page total / ページ合計	JPY
--------------------	-----

Documents / 書類	Start Date 開始日	Finish Date 終了日	Qty 数量	Price (JPY) 価格 (円)	Subtotal 小計
Road Book / ロードブック				JPY 7,000	
Official Program / 公式プログラム				JPY 1,000	
Route Map / ルートマップ				JPY 800	

Passes / パス

Auxiliary Vehicle Pass 補助車両通行証				JPY 10,000	
Team guest pass チームゲストパス				JPY 10,000	
Service crew pass サービスクルーパー				JPY 6,000	

Insurance / 保険

Jibaiseiki (refer to 8.2(b)) 自賠責				approx (約) JPY 6,500	
'Rally car' insurance ラリー保険(第三者賠償保険)	September 14th	September 16th		JPY 20,000 or above *1	
Personal accident insurance 1Week 個人傷害保険(1週間)	September 10th	September 16th		JPY 550 /person (1名につき)	

*1 Varies depending on the cylinder capacity / 気筒容積により異なる

Page total / ページ合計	JPY
Grand Total(page3-4) / 総計(p3-4)	JPY

E. Time for Scrutineering / 公式車検の時刻の申請

Please give your top 3 preferences of day and time for Scrutineering (e.g. 13 Thursday 1700hrs)

NOTE: Each of the 3 preferences must have at least 1 hour gap with the other two.

希望の日と時刻を第3希望まで記入してください。(例: 13日木曜日 17時00分)

※同日で複数希望の場合、希望時間は最低1時間の間隔でご記入ください(例: 第一希望15時 第二希望16時・・・)

Scrutineering 公式車検	1.	2.	3.
-----------------------	----	----	----

無線局諸元調書 / Radio Unit / Frequency License Application

用途 user	使用形態 voice or data	電波形式 type of freq	局数 number of units	空中線電力 Power output	使用希望周波数(Mhz) Desired radio frequency	必要最小周波数(Mhz) Lowest radio frequency	発振可能周波数(Mhz) Frequency range which can be cent	調整可能周波数範囲(Khz) Frequency range which can be adjusted	周波数帯幅 band width	製造者及び製造番号 Manufacture, serial nonumber	備考欄 Notes
car-1							to	± Khz			
car-2							to	± Khz			
crew-1							to	± Khz			
crew-1							to	± Khz			
repeater 1							to	± Khz			
repeater 2							to	± Khz			

- 日本国内で使用するすべての無線局について記入すること（無線局免許を取得せずに持ち込み運用すると法令により処罰されます）。
It is compulsory to apply for a temporary radio frequency license if you wish to use a radio in Japan. Please register every radio frequency that you wish to use in Japan.
The penalties for not registering are severe.
- それぞれの無線機について備考欄に使用目的（医療、タイヤマン、エンジン等）を記入してください。
Please write the purpose for which you are using the radio in the Notes column.